

12号

発行所  
(財)大分県森林  
整備センター

TEL 097-545-3009

林業雇用改善相談室

〒870-0844

大分市大字古国府1337の15

TEL FAX

097-543-7690 097-546-6969

おあいさ

# 林業雇用だより

魅力ある林業の職場づくりをめざして

平成12年度

## 林業作業士（グリーンマイスター） 育成研修を修了して

県は林業労働力対策の一環として、昭和56年度から林業作業士（グリーンマイスター）の育成研修を実施し昨年までに184名を育成いたしました。

本年度は、8名の研修生を対象に6月1日（木）湯布院町の大分県林業研修所（所長一守長十郎）において当（財）大分県森林整備センター（理事長一松紘一郎）主催による平成12

年度林業作業士（グリーンマイスター）育成研修の開講式が行われ、9月8日（金）までの45日間、①車両系建設機械運転技能、②フォークリフト運転機能、③小型移動式クレーン運転技能、④玉掛技能、⑤はい作業主任者、⑥林業架線作業主任者、⑦伐木等の業務に係る特別教育の7項目の研修を修了、資格免許を取得した研修生の感想文を紹介いたします。

### 「グリーンマイスターを終えて」

大成木材株式会社 河野 寿夫

私は大成木材に入社し、今年で5年目になりますがグリーンマイスターという45日間もある研修は、初めてで、不安でした。しかし、研修所での講習などを通して多くの人と知り合い、仕事の話などいろんなことを話し合っているうちに、あまり自信のなかった私でしたが少し自信がもてたと思います。

このグリーンマイスターで得た多くの資格と自信で、これから来る21世紀の林業をガンバッテ行きたいと思います。

### 研修を終えて

日田郡森林組合 桑野 哲治

私は初め、林業作業士育成研修を、資格の取れる研修としか考えていませんでした。しかし、実際に研修が始まってみるとそういった考えは、すぐなくなってしまいました。研修だけではなく、よい人生経験をさせていただいたと思います。そして、新しい友人も出来ました。年齢や働く職場などはちがいますが、本気で腹を割って話せる友人となったと思います。

今後、この林業作業士育成研修で得た資格や知識を十分に発揮できるように頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、森林整備センターの方々、林業研修所の方々、本当にありがとうございました。

### 林業作業士育成研修に参加して

下毛郡森林組合 森 祐次郎

今回、6月1日より延べ45日間にわたる林業作業士育成研修に参加したことにより、様々な資格、技術を修得することができました。林業架線作業主任者、高性能林業機械等の専門的な技術や、間伐、優良材生産等の育林に関する知識など、ここで得たものは林業に携わって行く上で、大変役にたつものばかりでした。また、県内各地より集まった研修生と親交を深め、様々な意見交換が出来たことも大変貴重な体験となりました。

この様な研修に参加する機会をあたえて下さった方々に深く感謝するとともに、これからの現場作業においては、修得した資格を生かし、林業作業士としての誇りをもって、さらなる地域林業の振興に貢献できるように努力していきます。

### 林業作業士育成研修修了式



後列左から  
玖珠郡森林組合 藤原 竜二、竹田直入 森組 甲斐 孝博、  
臼津関 森組 古野 仁志、日田郡森林組合 桑野 哲治

前列左から  
下毛郡森林組合 森 祐次郎、別府遠見 森組 吉田 壽信、守長 研修所 所長、  
センター 貫路 専務、佐伯 広城 森組 山宗 始、大成木材（株） 河野 寿夫

## 林業作業士育成研修の感想

玖珠郡森林組合 梶原 竜二

間伐技術講習では、間伐や除伐の意義や目的と間伐の種類と方法を教えてもらいました。伐採等の業務に係る特別教育では、実際に現場に行き伐採の方法を覚えてもらってやってみたら、受口の入れかたが、とてもむずかしかったです。高性能林業機械基礎研修では見るものがすべて初めてで、すごく、便利な物があるんだなと思いました。これからは林業も機械化が進んで、オペレーターが必要になってくるのがわかりました。

林業架線作業主任者養成講習は15日間あって、この研修では一番長くてきつかったです。でも色々なことを教えてもらって色々勉強になりました。

車両系建設機械運転技能講習では機械の特性や性能などを勉強し、実技では実際に建設機械の運転をして操作方法をおそわりました。玉掛・小型移動式クレーン運転技能講習では、クレーンの運転が難しかったです。

はい作業主任者技能講習では、はいの種類やはいの組みかたなどを勉強しました。

作業道開設実習では、実際に山に行き木をきり作業道を作り、先進地視察では熊本まで行き色々な所が見れてとても良かったです。取得した免許を林業に生かして頑張りたいと思います。



架線集材研修

佐伯広域森林組合 鉄山 宗始

この度、各機関の方々のお世話になり、無事研修を終えることが出来まして、大変有難うございました。研修所で学んだことを自分の血とし肉とし、これからも林業に努めていきたいと思えます。

自分が、林業に初めて携わったのは十数年前ですが、当時の仕事の「つなぎ」程度ぐらいに思っていました。若い自分は、おじさん達の「どこの地下足袋がいいか」とか、「手袋は何」とかの話の中で気が狂いそうでした。だから今、本当に林業がやりたくてやっているのではなく、やらされている若い人の気持ちは、少しはわかるつもりです。そんな時期に初めて、林業研修所で、架線作業主任の免許を取りました。最初は、とりあえず取っておこうという気持ちでしたが、免許を手にしたら林業に対する自覚が芽ばえ、少しずつ前向きに考え始め、今では、「天職だ」と思うようになりました。

「天職」とは、人より仕事が出来るとか、だれより知識があるとかでなく、その仕事に対する心の状態だと思います。今、林業は、大変苦しい状態にあります。「この苦しい状態から脱出するには、林業の技術の向上を図り、コストを下げ、良質な製品を生産し、木材の良さを積極的にPRし、需要を確保することが大切である。そうすることにより、木材の価格は上昇し、又豊かな林業にもどることが出来る……………」勿論、技術向上、良質な製品、PR、どれも、それらは、日々努力すべきだと思います。

しかし、それらは、自分が思うに、二十世紀までの林業だと思えます。二十世紀までは、山を、木を、いかに高く売るか、いかにコストを下げるか、にウエイトを置いて頑張ってきました。その「いかに」がうまくいけば、利益となりました。

今、この不況の時代、乗りきれぬ人、又は職業、又は団体は本物だと思います。各業界、食品、漁業、農業、などいろいろな業種の中で、この不況のトンネルを抜け出せそうな人は、一見「利益」とは無関係の「循環」ということに気づいています。例えば、山に広葉樹を植林する漁民。

竹田直入森林組合 甲斐 孝博

45日間という長い期間の研修でしたが、技術だけでなく、人生における研修でもあったと感じています。研修に行く前は、45日間は長いと思っていましたが、研修を終えた今になってみると、もうちょっと続けたいなと思っている自分の姿に驚いています。法令の講義はちょっとというか、かなり眠ったのですが、その分実技講習はしっかりと集中して受けていた気がします。その中でも、架線の講習だけは本当に辛かったです。自分は高所恐怖症なので、架線を張る鉄塔に登るのが恐くて、足がなかなか登ろうとしなかったのを思い出されます。でも楽しかったです。たぶん自分一人だったら辛いと思うけれど、みんながいたから、辛い事も乗り越えてこれたんだと思われまます。

この研修を通して林業における技術だけでなく、人生の良い勉強になりました。本当にありがとうございました。

これからの人生の糧となるよう一日一日を、森林と共存していけるよう努力していきます。

なぜ、漁師が山に、それは、広葉樹がミネラル分の溶け込んだ水をつくり、海にそそぎ、魚を育てるということを知ったからです。

「リアス式海岸」の「リアス」とは、スペイン語で「潮入り川」だそうです。リアスの主役は川であり、その川は山で育てられます。海へ出た水は、再び空へ登り雨として帰って来ます。全てはつながっています。「循環」しています。

これからの林業は、単なる「山売り」や「木売り」的なものの考え方ではダメだと思います。日本には、2,500万haの森林があり、これは国土の67%、そのうち人工林が約1,000万ha。人工林とは永久的に人の手入れが必要で、それは自然林を伐って、造林していった「人間」の義務だと思います。ところが間伐実施割合は、'96年度で半数程度だそうです。人工林を、価値ある山にするということは、同時に、環境に対応した山を造る。ということです。

今、山に求められるのは、財産的なことだけでなく、環境との調和ということも重要視しなくてはならないと思います。

今、必要なのは、山を手入れする「気力」と「システムの改善」だと思います。

私は、この奥が深く、素晴らしい林業という仕事に一生努めていきたいと思います。きれいごとばかり並べましたが、理想に近づこう努力します。

## グリーンマイスターについて

白津関森林組合 古野仁志

自分は、今年6月から、「林業作業士育成研修」を受けました。今まで、単独で色々な研修を受けにいったけど林業作業士育成研修のような、まとまった研修は、はじめてでした。

その中でも一番自分が辛かったのは、林業架線でした。3週間も続けて研修があり、とても辛かったです。

次の研修は前に受けていたので、一ヶ月ぐらい間があきました。そして8月にはいって、フォークリフト研修、つづけてはい作業、そして、先進地視察でおわりです。

最初は、この研修は、長くて、つらそうだと思っていたけど、終わるにつれて、なんか、短かったなと思いました。

この研修で、いろいろなことを学んだり、一緒に勉強した林業関係の人々に出会えたことを、これからの林業の仕事に役立てて行きたいと思っています。



バックホウを使った作業道開設研修

## GMの決意

別杵速見森林組合 吉田壽信

林業作業士育成研修は、研修所に毎日通っているのではないかと感じるほど長く感じられましたが、そのかわりに多くの資格・同じ林業に携わる若い仲間を得ることができ、とてもよかったです。

この仲間でありますが、いろいろな考え方を持っていますが、決して発展しているとは言えない林業を支えていこうという志を持っていると感じました。

また、自分は兵庫県から1ターンしてきたばかりで、知識・技術が一番未熟でありましたが、これから努力して負けなように大きく成長して行くぞと心に思いました。

最後になりましたが、研修ができる環境をつくっていただいた方々に感謝いたします。



フォークリフト操作研修

## 平成12年度 認定事業体職員研修会を開催

平成12年11月21日、22日の2日間、高性能林業機械による機械化林業の普及定着を図るため事業の合理化と雇用改善の推進を目的として、認定事業体の職員を対象に技術研修会を開催した。

初日の11月21日は、別府市の地方職員共済組合別府保養

所つるみ荘で「効率的な集材作業システム」についてをテーマに後記の講演会を行い翌日の11月22日は、高性能林業機械の技能向上を図るため、日出町のコマツ大分(株)で「高性能林業機械の始業点検及び整備」について実技研修を行った。

### 21日の講演内容

#### 1 演題

「ウインチ付きグラップル(スイングヤーダー)による」主伐・間伐集材事例

講師 (株)トライウッド  
課長補佐 藤川 靖治 氏

#### 2 演題

「ウインチ付グラップル(スイングヤーダー)による」列状間伐集材事例

講師 香美森林組合  
業務課長 森 永正延 氏

#### 3 演題

「山造り承ります」その実践事例

講師 島崎山林研究所  
所長 島崎 洋路 氏



地方職員共済組合別府保養所「つるみ荘」にて

## 平成12年度 大分県林業労働力育成協議会を開催



平成12年度 大分県労働力育成協議会

平成13年1月17日大分県林業会館新館において国、県、市町、森林組合、林業関係団体で構成する委員15名が出席して行われた。

協議事項として(1)林業労働力の確保の促進に関する事項、(2)林業機械の活用と今後の取扱いに関する事項、(3)林業労働者等の研修に関する事項、(4)林業就業促進資金に関する事項、(5)林業事業体の求人に関する事項について前年度までの実績及び現況とその対応について報告し、平成13年度以降の当森林整備センター事業について協議し事業への協力を要請した。

## 平成12年度 林業事業体経営者資質向上研修会を開催

平成13年1月25日、大分県林業会館新館において当森林整備センターの主催による認定事業体の経営者を対象にした「平成12年度林業事業体経営者資質向上研修会」を開催した。

真路専務理事から「最近の木材価格はかつてない低迷により、森林・林業、木材産業は危機的状況下におかれていますが、本日の研修事項を林業事業体皆さんの経営や雇用の改善の一つでも取り入れて戴き、この不況を克服して戴きたい」とあいさつがあった。

続いて、大分県林業水産部林業振興課の佐藤参事が来賓祝辞を述べ研修に入った。

研修の内容は次の通り

### ①「今後の素材生産と労務対策」

講師 大分県木材協同組合連合会  
理事長 岡村博之氏

### ②「林業現場における適正な給与形態」

講師 有限会社ビジネスブレン  
代表取締役 清成真一氏



受講する林業事業体のみなさん

## 平成12年度 林業雇用改善促進事業 事例見学会を開催

平成12年12月7日・8日に、認定事業体と関係機関の参加者総数25名で、熊本県人吉市(株)泉林業の雇用及び経営管理の改善と高性能林業機械による事業の合理化の現況と、熊本県球磨郡深田町、熊本県森連球磨共販所での木材の流通の状況等について見学会を実施した。

初日の7日は泉林業の経営方針について、泉忠義社長から説明を受けた。



(株)泉林業の事務所で泉社長の説明を受ける



(株)泉林業の素材生産現場で泉社長の説明を受ける

その内容は次のとおりです。

社員は22名（平均年齢は43歳）。平成2年にプロセッサを導入したことにより労働生産性が向上し初期の目的を達成することができた。

プロセッサで造材すると生材は皮が剥げやすいため、葉枯らし乾燥を取り入れたことにより必然的に乾燥材が生産される利点にもつながった。

高性能大型機械の導入は、従来の林業労働の3Kイメージ打破に繋がり労働条件の改善が図られ若年労働者の確保が可能となった。また、1日の稼働については秒単位で稼働状況を分析し生産性の向上に努めている。

人材の養成に係る技術研修は、積極的に従業員を参加させている。このため定年後でも他の事業所に雇用者が

多い。

労働安全の確保については、毎月初日は全社員に対して安全目標を立て社員の意識を喚起することにより労働災害の防止に努めている。

（毎月5の付く日は安全点検日）

概要説明及び作業現場で、泉社長さんの会社経営や生産面で常に先を見越した取り組みに対する経営理念、また地域林業の活性化に寄与していることなど林業生産活動の厳しい状況に立ち向かい、全社員が一体となって事業の合理化を図ってその成果を上げている等々、経営のノウハウを聞くことができた。



熊本県森連球磨共販所の和田係長の説明を受ける

8日は、熊本県森林組合連合会球磨共販所の、和田係長から木材の流通について説明を受けた。

職員数は事務職3名、現業職8名、計11名。

出荷者の割合は、年間をとおしては森林組合（6組合）75%、熊本県、管内市町村5%、素材生産業者20%である。

はい積作業は時間単価の請負制。

共販市日は毎月2回開催、1回の取扱量は約1,500m<sup>3</sup>で、緊急間伐対策により多少増加しているものの、劣悪木も増加している。しかし、素材の選別やはい作業の改善を図り成果を上げていると説明された。



熊本県森連球磨共販で流通に関する説明を受ける

今回の見学会で貴重な経営の真髄を学んだことで所期の目的を達成することができました。ご協力をいただきました、関係先にお礼を申し上げます。

# 求職者の問合せ情報について

今年度も昨年度と同様に、県外からも多くの求職の問合せがあり次表の通りです。林業就業者の減少・高齢化が進行する中で、都市部の人達の林業への就業希望者が増加す

る傾向にあります。この人たちを受け入れられるような体制が早くできることを願っています。

## 11年度

県内	4名 (年齢不明 1名)	平均年齢36.6歳
県外	40名 (年齢不明 4名)	平均年齢32.0歳
計	44名 (年齢不明者は平均年齢から除く)	平均年齢31.6歳

## 12年度

県内	10名	平均年齢33.5歳
県外	19名 (年齢不明 1名)	平均年齢33.0歳
計	29名 (年齢不明者は平均年齢から除く)	平均年齢33.1歳

## 森林整備センターへの求職等相談受案件数

方面	県名	平成11年度 (11/4~12/3)		平成12年度 (12/4~13/1)		
		人数	年齢及び居住地	人数	年齢及び居住地	
九州・沖縄	大分県	4名	28歳 (大分市7)	10名	20歳代 (大分市3)	40歳 (別府市2)
			40歳 (別府市3)		27歳 (大分市)	40歳 (別府市)
			42歳 (臼杵市)		28歳 (大分市2)	45歳 (大分市)
			年齢不明 (大分市)		29歳 (大分市)	46歳 (臼杵市)
	福岡県	4名	23歳 (甘木市) 42歳 (北九州市) 27歳 (三井郡) 46歳 (福岡市)	3名	35歳 (北九州市) 39歳 (北九州市) 54歳 (山田市)	
	佐賀県	1名	31歳 (藤津郡2)			
	長崎県			1名	42歳 (長崎市)	
宮崎県	1名	24歳 (宮崎市)	1名	32歳 (宮崎市)		
鹿児島県	1名	30歳 (川内市)				
	計	11名	間合わせ 20件	15名	間合わせ 20件	
中国・四国	岡山県	1名	25歳 (岡山市)	1名	32歳 (岡山市)	
	広島県	1名	22歳 (広島市)	1名	23歳 (廿日市市)	
	鳥取県	1名	24歳 (鳥取市)			
	徳島県	1名	31歳 (美馬郡2)			
	高知県	1名	43歳 (高知市)			
	計	5名	間合わせ 6件	2名	間合わせ 2件	
関東	滋賀県			1名	20歳代 (住所不明)	
	京都府	1名	27歳 (京都市)			
	大阪府	9名	27歳 (大阪市) 45歳 (大阪市)	4名	24歳 (堺市)	
			27歳 (大阪市2) 50歳 (大阪市)		29歳 (大阪市)	
			30歳 (大阪市) 年齢不明 (大阪市)		35歳 (大阪市)	
			32歳 (東大阪市) 年齢不明 (豊中市)		37歳 (交野市)	
	32歳 (大阪市)					
奈良県	3名	25歳 (奈良市) 32歳 (吉野郡) 28歳 (奈良市)				
兵庫県	3名	25歳 (西宮市3) 年齢不明 (尼崎市) 30歳 (西宮市)	3名	33歳 (姫路市) 44歳 (神戸市) 34歳 (神戸市)		
和歌山県	1名	36歳 (和歌山市)				
	計	17名	間合わせ 19件	8名	間合わせ 8件	
北海道・関東東	北海道			1名	21歳 (住所不明)	
	茨城県			1名	27歳 (北相馬郡)	
	栃木県	1名	36歳 (足利市)			
	群馬県	1名	30歳 (前橋市)			
	千葉県	2名	24歳 (鴨川市) 41歳 (千葉市)			
	東京都	4名	23歳 (江東区2) 49歳 (中野区) 34歳 (調布市2) 年齢不明 (目黒区)			
	神奈川県			1名	28歳 (相模原市)	
愛知県	3名	25歳 (刈谷市) 46歳 (刈谷市) 31歳 (江南市2)	1名	25歳 (渥美郡)		
	計	11名	間合わせ 14件	4名	間合わせ 4件	
合計	44名	間合わせ 59件	29名	間合わせ 34件		

## 林業労働のゼロ災害を目指そう!! 林業に従事する時は次の事項を 必ず守り事故発生を未然に防ぎましょう。

- 山の仕事は、絶対に「一人」ではないようにしましょう。
- 始業時の『柔軟体操』を励行しましょう。
- 『ヘルメット』の着用を励行しましょう。
- ささいな作業はでも常に『安全ベルト』や『防塵メガネ』を着用しましょう。
- 作業の手順は事前に『綿密な打ち合わせ』をしましょう。
- まわりの『危険物』は完全に取り除き『退避場所』を常に設置しておきましょう。
- 作業手順の区切り毎の動作を必ず『目で合図』をしてまわりの人が了解したことを『確かめて』作業を行いましょう。
- 安全確認の『指差呼唱』を励行しましょう。
- 『休憩』は必ず行いましょう。
- 『ヒヤリ・ハット』を活かし事故を未然に防ぎましょう。

### 平成12年の労働災害状況

労働基準監督署の平成12年1月～12月までの1年間の労働災害統計は下表のとおりです。林業における労働災害状況を見ると県全体の1,504件に対して76件の5.1%、うち死亡災害は県全体の21件に対して3件の14.3%となっております。

害状況はワースト3位となっています。

また、全国対比で見ると、全国発生件数2,908件に対して大分県は76件で2.6%、死亡災害は全国52件に対して大分県は3件で5.8%を占めており災害発生率ではワースト1位、死亡災害率では2位とワースト上位のランクとなっています。

林業は、常に危険と背中合わせとなっていますので上記を必ず守って労働災害防止に努めましょう。

業種別	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	大分県合計①	大分県比率①/②	全国合計③	全国対比率①/③
林業	26 件数 (0)	18 件数 (0)	22 件数 (3)	10 件数 (0)	76 件数 (3)	5.1 % (14.3)	2,908 件数 (52)	2.6 % (5.8)
農業	2 (0)	6 (0)	0 (0)	2 (0)	10 (0)	0.7 (0)	818 (19)	1.2 (0)
水産業	0 (0)	2 (0)	4 (1)	3 (0)	9 (1)	0.6 (4.8)	769 (10)	1.2 (10)
建設業	114 (4)	130 (1)	96 (1)	96 (3)	436 (9)	29.0 (42.8)	26,938 (660)	1.6 (1.4)
卸・小売業	27 (2)	37 (0)	27 (0)	18 (0)	109 (2)	7.2 (9.5)	13,138 (171)	0.8 (1.2)
その他企業	245 (1)	216 (1)	216 (3)	142 (1)	864 (6)	57.4 (28.6)	80,247 (804)	1.1 (0.7)
合計	414 (7)	409 (2)	410 (8)	271 (4)	②1,504 (21)	100.0 (100.0)	124,818 (1,718)	1.2 (1.2)

## 認定事業体の事業・就労状況に関する調査報告

このたび、認定事業体の事業と就労の現況を把握するため調査をいたしました。

全体評としては、1週間の労働時間は全事業体が40時間制で労基法を満たしています。

給与は月給制77%で社会保険の加入は81%など下表のとおりとなっております。

この調査から最も憂慮されることは、労働力の高齢化です。

年齢構成では、60歳代が22%を占めており50歳代を含めると44%に達しています。大分県も確実に高齢化が進んでおり避けて通れない結果となっています。

若年者の雇用促進が急がれるところです。

調査事業体 30      回答事業体 26

### 調査結果表

平成13年1月31日 現在

認定事業体	職員数				年代構成						勤務時間						
	男		女		平均		20代	30代	40代	50代	60代	所定労働時間			始業時間		
	7:00	7:30	8:00	7:00	8:00	8:30											
	207	14	221	8.5	42	32	48	50	49	11	11	4	10	11	5		

  

始業場所		終業場所		事業量 (主体とする事業)				給与制				社会保険加入状況		安全衛生		
事務所	現場	事務所	現場	素材	造林	作業道	加工	月給	月給 出来高	日給	日給 出来高	健康	雇用	安全 衛生 管理者	講習会	巡回指導
9	17	7	19	12	8	3	3	16	4	4	2	20	22	15	21	23